



地域学校協働本部だより

令和8年9月7日発行 NO.5

港区立赤羽小学校 校長 中村 美奈子
地域コーディネーター 石川 啓子
地域学校協働本部担当 鷲頭 功学
永富 敬之

2学期が始まりました！

新学期が始まり、朝夕には心地よい風が吹き、少しずつ秋の訪れを感じる季節となりました。

校内外の装飾は、子供たちや来校される皆様に季節を感じていただけるよう、ボランティアの皆様が心を込めて作って下さっています。

今月の壁面装飾は、金木犀をあしらった「防災の日」と「敬老の日」がテーマです。近年、各地で自然災害が発生しています。この機会に、ご家庭でもお子様と一緒に防災への備えについて話し合っていただければと思います。また、寄り添うおしどり夫婦の姿には、日頃の感謝の気持ちを伝える大切さが込められています。

窓には、ススキが揺れる草原で楽しそうに遊ぶうさぎたちや、お月様で餅つきをする様子が描かれています。コスモスの上には秋空を彩る羊雲も広がっています。よく見ると、どこかに羊の顔が隠れているかもしれません。ぜひ探してみてください。

毎回趣向を凝らした作品で私たちを楽しませてくださるボランティアの皆様に、心より感謝申し上げます。



秋の七草



二十四節気では、8月23日頃から9月6日頃までを「処暑(しよしよ)」といい、厳しい暑さが峠を越す頃とされています。朝夕には涼しい風が吹き、心地よい虫の声も聞こえるようになりました。

また、9月7日頃からは「白露(はくろ)」を迎えます。夜の間に冷えた空気によって朝露が草花や木々に宿り、その露が朝日に照らされて白く輝いて見えることから名付けられました。日中の暑さも少しずつ和らぎ、秋の気配が一段と深まっています。

学校では、秋の行事や創立100周年に向けた準備も進んでいることと思います。皆さん一人ひとりが力を発揮し、思い出に残る実り多い秋となることを願っています。